

地域共生社会の実現に向けた 取組について

令和3年2月18日
高松市総合教育会議資料
高松市 健康福祉総務課 地域共生社会推進室

ほっとけん 市民みんなでつくる
ほっとかん まち 高松。

「地域共生社会」とは

地域共生社会の理念※

制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を
超えて、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや
役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的な
コミュニティ、地域や社会を創るという考え方

※令和元年12月26日 厚生労働省「地域共生社会推進検討会」最終とりまとめ抜粋





高松市の課題と包括的な支援体制づくり

地域では…

- 独居高齢者の増加
- 自治会加入率の低下等による地域コミュニティ活動の担い手不足
- 地域のセーフティネット機能(血縁・地縁・社縁)の弱体化
- 合併後の本庁への機能集中による利便性の地域格差

市役所や各支援機関でも…

- 高齢化や共同体機能低下で相談増加
- 複雑化・複合化した課題が増加
- 年齢・分野別の支援が充実していく一方で縦割り強くなる
- 財源不足で事業縮小・サービス低下
- 現役世代急減で人材確保がより困難に

全市域・44地域で組織される住民主体の団体

地域コミュニティ協議会

住民主体の協議の場を通じた支え合い活動

地域福祉ネットワーク会議

高松市の 特徴

地域における行政組織の中核として拡充

総合センター

社協・NPO・社会福祉法人など多種多様

多分野の支援機関・社会資源

土台としての地域力強化
支え合い活動を幅広い世代へ

**① 地域みんなで助け合う
仕組みづくり**

身近な相談先としての
まるごと福祉相談員・総合センター

**② 話しやすく分かりやすい
身近な相談支援**

制度・分野を超えた
多機関協働のネットワーク強化

**③ どんな福祉の困り事にも
対応できる仕組みづくり**

高松型地域共生社会構築事業

3



令和元年度事業の取組状況①

① 地域みんなで助け合う仕組みづくり



● **地域福祉ネットワーク会議の立ち上げ**
39/44地域コミュニティ協議会 (H28～累計)

● **活動の推進・担い手の育成**
(H31.4月～R2.3月末)
担い手養成研修会…85人修了
ネットワーク会議交流会…218人参加

● **住民の支えあいサービス** (H28～累計)
訪問型サービスB…23地区
通所型サービスB … 6地区
その他のサービス… 8地区

※ H28～R2.3月末



通所サービス(体操)



訪問サービス(買い物代行)



訪問サービス(ゴミ出し)

4



令和元年度事業の取組状況②

2 話しやすく分かりやすい身近な相談支援

まるごと福祉相談員

●まるごと福祉相談員の配置

市社協への委託により福祉の専門職(社会福祉士・ケアマネ)を3人配置。
(配置人数…本所2人、香川支所1人)

●アウトリーチ

地域の拠点(地域の会合・居場所・地域福祉ネットワーク会議等)へ出向き、地域の情報収集や戸別訪問を行う。

牟礼	香川	勝賀	合計
168 件	148 件	416 件	732 件

※R1年度はH31年4月～R2年3月までの実績。ただし、牟礼・香川エリア(香南地区以外)は10月から事業開始



地域でのアウトリーチ

●相談対応・支援コーディネート

支援につながっていない世帯全体の課題を整理し、必要な支援をコーディネートする。支援機関へつないだ後も、必要に応じてフォローしていく。

牟礼	香川	勝賀	合計
28 件	62 件	85 件	175 件



まるごと福祉相談員

つながる福祉相談窓口

総合センター窓口で、幅広く福祉に関する相談を受け、担当課や関係機関へつなぐ。R2年2月から他エリアに先行して勝賀総合センターに設置。

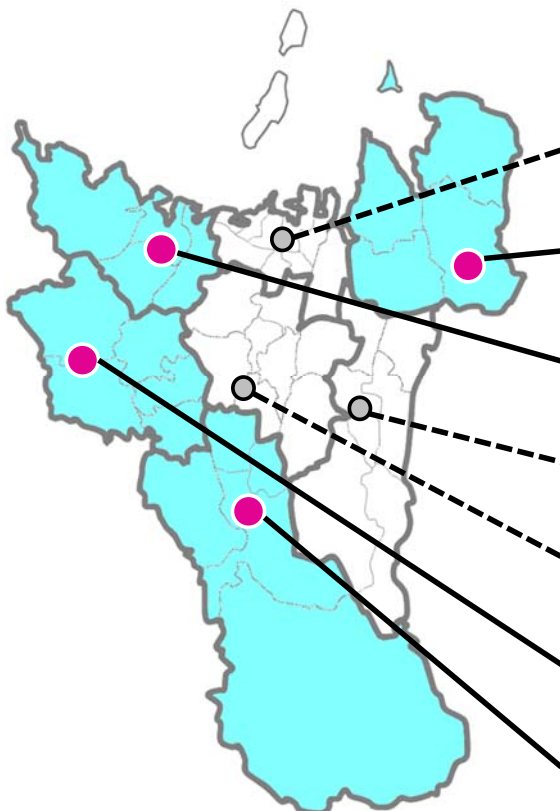


つながる福祉相談窓口



モデル事業実施エリア

※令和3年2月時点



エリア	まるごと福祉相談員	つながる福祉相談窓口
本庁	未配置	令和3年度設置予定
牟礼	令和元年10月～	令和2年10月～ ※牟礼総合センター内
勝賀	平成30年8月～	令和2年2月～ ※勝賀総合センター内
山田	未配置	未設置 ※東南総合センター(仮称)内
仏生山	未配置	未設置 ※中部総合センター(仮称)内
国分寺	令和2年10月～	令和3年1月～ ※国分寺総合センター内
香川	令和元年10月～ ※香南はH30年8月～	令和2年10月～ ※香川総合センター内



令和元年度事業の取組状況③

3 どんな福祉の困り事にも対応できる仕組みづくり

※H31年4月～R2年3月末(12か月間)の実績。ただし、牟礼・香川エリア(香南地区以外)は10月から事業開始

まるごと福社会議

多機関協働で複合的課題を解決するための、ネットワーク構築や、個別ケース支援について検討する場を「まるごと福社会議」として位置付け、必要に応じて開催。

- 地域共生社会推進プロジェクトチーム会議 …2回
- 関係機関実務担当者会 …2回
- 連携主担当・副担当者会議 …1回
- 情報共有会 …11回
- まるごと福祉コアメンバー会議 …牟礼1回、香川1回、勝賀8回
- まるごと福祉定例会議…牟礼1回、勝賀1回
- まるごと福祉個別会議…香川2回、勝賀1回
- 既存会議を活用した個別会議 …勝賀1回

多機関と連携した支援

福祉分野を始め、司法・教育・就労など様々な分野の関係機関へ外向き、顔の見える関係づくりを進め、まるごと福祉相談員に情報が集まり、連携して対応できる体制づくりを行った。

- 関係機関からの持込案件数…60件(H30:18件)
- 連携対応した機関数 …88機関(H30:44機関)

職員の意識啓発

地域共生社会推進プロジェクトチームに参画する所属の全職員を対象に研修を実施。

- 職員研修…657人受講(H30:671人)



職員研修(本庁)

子どもの貧困対策コーディネート



コーディネーター養成研修

子どもの未来応援コーディネーターを配置し、子どもの貧困対策に関わる関係機関や支援者のネットワークづくりを行った。

- セミナー…105人参加
- コーディネーター養成研修 …46人修了



(新)高松型地域共生社会構築事業のイメージ

1 地域のみんなで助け合う仕組みづくり

2 話しやすく分かりやすい身近な相談支援

3 対応できる福祉の困り事にも

